

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。
第13回目は、KKさんにその経緯を語っていただきます。

私は幼い頃から会話が下手で、人とコミュニケーションを取るのが苦手でした。人に笑われ、からかわれるのが嫌で、人との交流を避けてきました。

そんな私の安らぎはTVゲームでした。ゲームをしている時は嫌なことも忘れ、家にいる時は朝から夜まで、ほとんど毎日の様に没頭していました。しかし、やがて自分への劣等感と絶望感で、生きるのが辛くなりました。

ある日、クリスチャンの祖母が亡くなり、キリスト教式で葬儀が行われました。その時、牧師が「生きるのに本当に大切なものは、お金や権力、財産といった目に見えるものではなく、愛や優しさ、勇気といった目に見えないものです。」と語られ、この言葉は私の心に深く残りました。

私は、「自分は何のために生きているのだろう。本当に生きるってどういう意味なのだろう。」と考えるようになりました。そして、教会に行きたいと思いました。

土曜日の早朝、ラジオで宝塚栄光教会の案内

があったので、インターネットで教会のホームページを見ました。ホームページから岩間牧師の礼拝メッセージを聞き、教会の人の証を読んで、とても励まされ、教会に行くようになりました。

毎週日曜日の礼拝で、聖書の説き明かしとメッセージを聞くうちに、自分の傲慢と汚い心に気づいていき、神様の前に悔い改めへと導かれました。今も日曜日、礼拝に出席することはおろそかにできません。

礼拝では、十字架のメッセージが語られます。何度も聞くうちに、自分への苛立ちを覚えることがあります。厳しいメッセージでも、間違った方向に進ませなくするための、神様の愛による自分へのお叱りであると思えます。

自分と向き合い、
信仰と渴きをもって
求め、神様を信じる
者でありたいです。



神の平安が守ってくれます

人生、楽あれば苦あり、順風満帆な時だけではなく、逆風に悩まされる時もあります。“それが人生なのだ”と割り切ってしまういいのですが、なかなかそうはいきません。

聖書にこうあります。「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」(ピリピ人への手紙4章6節、7節)

私たちは、とにかく自分一人でくよくよ思い煩いやすいものです。誰かに相談することもあるでしょう。しかし、聖書は「神に知っていただきなさい」と言います。私たちが愛し、すべてをご存じの神様に打ち明けるのです。そうするなら、「すべての理解を超えた神の平安が…守ってくれます」とあります。人のどんなアドバイスや激励も、神様の平安に

まさるものではありません。

そもそも、思い煩いの原因は自己中心です。自分が幸せになりたい、自分が楽しく過ごしたい、自分が偉くなりたい、…すべて自分のためのものです。そこから、様々な悩みや苦しみが生じます。これが、神様から離れた私たち罪人の姿です。

イエス・キリストは、この私たちの罪を取り除くために十字架にかかられました。私たちが、自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、どんな人でも罪から救われます。この救いをいただいたら、神様の与える平安に絶えず包まれ、守られるのです。

あなたは、今、何かのことで思い煩っておられませんか。どうしたらいいのだろうと、思案に暮れておられませんか。一人悶々と過ごしておられませんか。私たちが罪から救い、平安を与え、どんな時も守ってくださる神様を知ってください。愛なる神様にすべてをゆだねて、神様の平安をいただいでください。

教会のひとこま ー夏の花々ー

8月の猛暑が連日続く中、暑さに負けず、たくましく咲く夏の花々の姿が、教会の庭にありました。「くじけそうになった時は、私たちを見て元気を出してね」。そんなエールを私たちに送って、励ましてくれているようでした。

私たちはいろいろと心も身体も萎えてしまいそうな時があります。そんな時は、この花々の姿を思い出して、前へ進んで行こうと思いました。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:40

第二部 11:00~12:10

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。
お困りの方はご相談ください。



「ヤマハハコグサ 一山母子草」

ヤマハハコグサは 晩夏の花である
日当たりの良い山地に生える 山野草である
少し足をのばして 山に向かうと
緑が 青垣のように巡らされている
風が吹くと 顔を向け 深く息を吸いこんでみる

山道で ヤマハハコグサを見つけた
例年よりも 花の数が少なく 小ぶりであった

ハハコグサという 春の七草があるが
野に咲くハハコグサと ヤマハハコグサは どこか似ているのだろうか

母親が子供を あたたかく包みこんでいる
優しい姿と重ねあわせたのだろうか
確かに 白い花びらのように見えるが
総苞片(葉っぱが変化したもの) 花はこれに包まれている
まん中の黄色い部分が ヤマハハコグサの花である

しかし まだ開いていない 白いつぼみのヤマハハコグサは
はっとするような 美しさだ
カサカサとした総苞片が 純白の真珠の玉のように集まって
それが 日の光に照らされて光っているのだ
可憐で 優しい姿である

あなたの正しさを 光のように
あなたのための裁きを 真昼の光のように
輝かせてくださる。